



平成27年度 第1回

四国地方整備局総合評価本局小委員会の開催結果

●平成27年度第1回四国地方整備局本局小委員会の開催結果について

平成27年度第1回四国地方整備局総合評価本局小委員会を平成27年8月31日に開催し、平成27年度の総合評価方式による本官契約の工事について提示し、その中から委員により抽出していただいた代表工事3件について具体的な総合評価内容の説明を行い、ご意見をお伺いしました。

また、平成27年度の総合評価方式、プロポーザル方式による本官契約の建設コンサルタント業務等について提示し、ご意見をお伺いしました。

これらの意見を参考に、総合評価方式等の審査又は評価が、より一層中立かつ公正に行われるよう今後とも努めて参ります。

【主な意見の概要】

- ・入札参加者が多様な技術提案を提出できるように、設定する着目点について今後とも引き続き検討を進めて頂きたい。
- ・着目点の設定にあたっては、オーバースペックとなる技術提案を抑止する観点と併せて、技術提案が限定的にならないよう、今後とも着目点の設定について引き続き検討を進めて頂きたい。

本局小委員会の概要

1. 日時：平成27年8月31日（月）14:00～16:00
2. 場所：高松サンポート合同庁舎 13階災害対策室
3. 出席委員：高塚委員、武藤委員
4. 議事次第・・・別紙－1
5. 議事概要・・・別紙－2

<問い合わせ先> 国土交通省 四国地方整備局 企画部

技術管理課長 泉川 暢宏 (内線3311)

○技術管理課長補佐 片岡 浩史 (内線3314)

【港湾空港関係】

品質確保室長 近藤 徹 (内線6413)

○主な問い合わせ先

日時：平成27年8月31日（月）14:00～16:00

場所：高松サンポート合同庁舎13階災害対策室

平成27年度 第1回 四国地方整備局総合評価本局小委員会

議 事 次 第

1. 開 会

2. 報告事項

- 1) 平成27年度の総合評価落札方式による契約結果等について

3. 審議事項

- 1) 平成27年度の適用工事・業務（本官契約）について
- 2) 具体事例について
 - ・平成27－30年度 大谷川第3号堰堤工事(河川部)
 - ・平成27－28年度 桑野川大橋上部工事(道路部)
 - ・高松港朝日地区航路（－12m）浚渫工事(港湾空港部)
- 3) その他

4. 閉 会

平成27年度第1回四国地方整備局総合評価本局小委員会 開催結果の概要

日時：平成27年8月31日（月） 14：00～15：40
場所：高松サポート合同庁舎 13階災害対策室

出席委員 香川大学大学院 教授 高塚 創
徳島大学大学院 教授 武藤 裕則

I 報告事項

1) 平成27年度の総合評価落札方式による契約結果等について

II 意見聴取の対象

小委員会の役割が、複数の工事（総合評価方式）及び業務等（総合評価方式、プロポーザル方式）に共通する評価方法及び個別工事、業務等の評価方法や落札者の決定方法に関することに対して意見を聴取することを踏まえ、平成27年度の総合評価方式による工事51件（本官契約工事）について評価項目の内容等を提示。

また、平成27年度の総合評価方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等38件（本官契約業務）について提示。

【工事関係】 平成27年度対象工事 本官（本局）契約工事（H27.8.1基準日）

| | 開札済み | 手続き中 | 準備中 | 合計 |
|-----------------|------|------|-----|-----|
| 技術提案評価型(S型)2テーマ | 3件 | 3件 | 8件 | 14件 |
| 技術提案評価型(S型)1テーマ | 9件 | 3件 | 10件 | 22件 |
| 施工能力評価型(I型) | 0件 | 1件 | 0件 | 1件 |
| 施工能力評価型(II型) | 6件 | 2件 | 6件 | 14件 |
| 小計 | 18件 | 9件 | 24件 | 51件 |
| 総合計 | 18件 | 9件 | 24件 | 51件 |

【業務関係】 平成27年度対象業務 本官（本局）契約業務（H27.8.1基準日）

| | | 特定・開札済 | 手続き中 | 準備中 | 合計 |
|----|----------|--------|------|-----|----|
| 業務 | プロポーザル方式 | 14 | 3 | 3 | 20 |
| | 総合評価落札方式 | 16 | 0 | 2 | 18 |
| 役務 | 企画競争方式 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 30 | 3 | 5 | 38 |

III 主な意見の概要

- ・ 入札参加者が多様な技術提案を提出できるように、設定する着目点について今後とも引き続き検討を進めて頂きたい。
- ・ 着目点の設定にあたっては、オーバースペックとなる技術提案を抑止する観点と併せて、技術提案が限定的にならないよう、今後とも着目点の設定について引き続き検討を進めて頂きたい。